

2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

NPO法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

- ① 共同生活援助事業所どんまいハウスでは、入居者の方が安心して自分らしく地域で暮せるよう、日常生活の中で様々な相談・支援を行い、主体的に生活できるようにサポートしてきました。入居者の平均年齢が上がっており、昨年度は1名の方が介護施設に入居となりました。これまで行ってきていない支援を経験できたことで、幅広いニーズに対応したいと考えます。また、松山市のワンステップ事業を活用した昼食体験や夕食体験、チャレンジ事業を活用した体験外泊等を行い、長期入院の方の退院促進に努めました。

2021年度 どんまいハウス実績

(2022年3月末 現在)

見学者数	新規入居者数	退所者数	入居者数
11名	2名	1名	32名

- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、2022年3月末現在で定員20名に対し登録者数34名、平均通所者数18.7名と目標を達成することが出来ました。一昨年度末より、登録者数は4名増え、どんまいクラブの多種多様な作業内容に興味を持たれ見学、体験を希望される方が多く、個別のニーズや特性に対応できる支援力の重要性と人との関りを求められている時勢を改めて感じる一年でした。作業においては、2021年度も感染症拡大の影響を受け、販路の縮小、受注減少となった部分もありましたが、利用者一人ひとりの作業意欲に働きかけ、丁寧で確実な作業を遂行していくことで、継続的な生産活動の提供を行うことができ、安定した授産収入を保持することができました。利用を通し、就労意欲と自信を高め、現在3名の方が2022年度の就労を目指して活動されており、就労関係機関だけでなく医療機関とも連携して支援を続けています。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、2022年3月末現在で定員20名に対し登録者数34名、令和3年度平均通所者数18.4名となっています。昨年度もコロナウィルス感染症対策として、作業場の人数制限や手洗い・換気の徹底、在宅就労などを組み合わせ利用者の体調や生活が維持できるよう対策しながらサービスを提供しました。ワンステップ事業を利用された方は4名おり、地域移行の対象者として退院された方も2名入所し登録者数が増えました。調理や盛付などの作業に不安のある利用者の方も増えてきたことから軽作業として内職作業も再開し、個別に安心して作業していただけるよう一人ひとりに合った作業からスタートできるようにしました。また、就労に向けて希望されている方に対しては、関係機関への同行や連絡調整などをおこない、次のステップに向け背中を押せるように関わりながら支援しました。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、2022年3月末現在で定員20名に対し登録者数32名、2021年度の平均通所者数は19.8名でした。主となる印刷事業では、コロナでのイベント数減少による印刷物の減少、同業他事業所との価格競争などにより受注数が減少しました。それをカバーするために得意先への働きかけを行い、封入作業などを多く受注し工賃の維持に努めました。日々の作業では、利用者のモチベーションを保ちながら仕事に対する責任感が持てるよう作業配置を工夫したり、利用者間で教え合うことでコミュニケーションスキルを向上させたりするなど、利用者の能力の向上に努めました。コロナ禍により活動が制限されるなか、感染症対策をとりながら研修やレクリエーションを行い、利用者間での親睦や社会性の向上につながりました。ステップアップを希望する利用者には丁寧な就労支援を行い、昨年度は2名の利用者が障害者枠で一般就労につながりました。新しい環境の中でも安定した生活が送れるよう、関係機関と連携をとりながら企業への訪問など継続した支援を行っています。
- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぼは、2021年度、地域移行支援事業を利用して精神科病院から退院された方2名、グループホームから単身生活を始められた方2名、計4名の支援を行ってきました。定期的な訪問相談や同行支援などを行い、地域での生活をする上で生じる様々な状況にご自身で対応できる力を身につけられるよう支援をしてきました。利用者の方に統一した支援を行えるように、事業所内での情報共有に努めるとともに、医療機関、関係機関とも連携して地域での生活を支えてきました。

- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんは2022年3月末現在、契約数は計画相談93名、地域移行相談3名、地域定着相談9名です。計画相談では、利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等に努め、サービス等利用計画書の作成及び評価を行いました。地域移行については、一昨年同様、コロナによる面会制限等もあり退院支援について難航しましたが、2021年度は4名の方が退院に結び付きました。
- ⑦ シェアハウスこだちは、掃除や食事などの生活支援として週3日支援員が訪問し、5名の方が生活しています。共同部分の清掃や草引きなど協力しながら自立に向けて生活しました。コロナウィルス感染症により居室で過ごす時間が増えていることから、誕生会にはリクエストメニューやミニゲーム大会をして過ごしたり年中行事には季節の料理を食べたりしながら少しでも楽しみを持って生活できるようにしました。また、チャレンジ事業やワンステップ事業なども活用しながら見学体験も随時おこないました。
- ⑧ サロン事業は感染拡大防止の観点から、対面での実施はどんまい食堂2回、さろんだぞうカフェ2回のみとなりましたが、新たなつながりの形としてZOOMを活用したサロンを2021年7月より月に1回実施いたしました。思うように行動できない現状の中でも、何ができるのかを考えながら試行錯誤を繰り返し、最初は遠巻きに見学されていた方々にも、今では楽しい行事の一つとなっています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業所 どんまいハウス	4月1日 ～3月31日	松山市内	25名	松山市内の精神 障害者34名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	6名	松山市内の精神 障害者34名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	7名	松山市内の精神 障害者36名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	4月1日 ～3月31日	松山市内	6名	松山市内の精神 障害者42名
	自立生活援助事業所 まいさぼ	4月1日 ～3月31日	松山市内	5名	松山市内の精神 障害者4名
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	4月1日 ～3月31日	松山市内	5名	松山市内の精神 障害者93名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	シェアハウスこだち	4月1日 ～3月31日	松山市内	48名	松山市内の精神 障害者5名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人ピアサポート	4月1日 ～3月31日	松山市内	48名	松山市内の精神 障害者27名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	サロン事業 さろんだぞう	4月1日 ～3月31日	松山市内	48名	松山市内の精神 障害者64名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、他事業所との交流会、勉強会など	4月1日 ～3月31日	松山市内	48名	松山市内の精神 障害者51名

第2号議案 2021年度NPO法人どんまい活動報告書

月	日	活動	参加者
4月	28日	職員研修（事業所見学対応について）	どんまい職員
5月	14日	聖カタリナ大学看護科講義	ピアサポーター2名・濱石・井上
	18日	ZOOM研修（ぶうしすてむ）	どんまい職員
	26日	職員研修（虐待防止について）講師：橋本・中岡・柳原	どんまい職員
	29日	NPO法人どんまい総会・理事会（リモート）	理事・社員
6月	7日	訓練費給付請求システム説明会	中川・濱石
	24日	職員研修（衛生について）グループワーク	どんまい職員
7月	9日	相談支援従事者現任研修（7/9・7/16）	富永・川本・中川
	15日	聖カタリナ大学看護科講義	濱石
	21日	職員研修（地域移行について）（リモート）	どんまい職員
	22日	実習指導者講習会	濱石・川本
	27日	人権教育推進委員会部会	
8月	4日	防災訓練（どんまいクラブ・NKビル）	利用者・どんまい職員
	23日	防災訓練（いんさつの咲々屋）	利用者・どんまい職員
	25日	職員研修（交通安全について）（リモート）講師：野本	どんまい職員
9月	4日	相談支援従事者初任者研修（9/4・9/5）	中岡・矢野
	8日	ドライブレコーダー研修	どんまい職員
	16日	職員研修（医療観察法について）（リモート）	講師：保護観察所 社会復帰調整官
10月	2日	サービス管理責任者基礎研修（10/2・10/3）	中岡
	4日	人権教育推進委員会 理事会	どんまい職員
	19日	サービス管理責任者基礎研修（10/19・10/20）	矢野
	22日	聖カタリナ大学 看護学科講義	ピアサポーター2名・濱石・川本
	27日	キャリアパス勉強会	講師：本田社労士、参加者：管理者
	27日	職員研修（アセスメントについて）（リモート）講師：濱石	どんまい職員
11月	24日	人権教育推進委員会研修	
	25日	医療観察交流会中国四国ブロック	
	27日	職員研修（メンタルケアについて）（リモート）動画	どんまい職員
12月	3日	聖カタリナ大学社会福祉学科 講義	綾戸
	9日	保護観察所地域交流会	
	10日	聖カタリナ大学看護科講義	ピアサポーター2名・濱石・川本
	10日	NPO法人どんまい忘年会	理事長・理事・常勤職員
	14日	精神科研修員見学（どんまいクラブ・どんまいハウス）	
	29日	職員研修（サビ管・相談研修）講師：中岡、矢野、川本、富永	どんまい職員
1月	14日	聖カタリナ大学看護科講義	ピアサポーター2名・濱石・井上
	18日	目標の立て方勉強会	講師：本田社労士 参加者：管理者
	28日	職員研修（防災について）（リモート）講師：竹田	どんまい職員
2月	2日	サービス管理責任者更新研修（2/2・2/3）	松田・竹田・中川
	10日	聖カタリナ大学看護科講義	ピアサポーター2名・濱石・川本
	15日	支援連絡会議	関係機関（医療）管理者
	16日	職員研修（コロナ感染対策）（リモート）	どんまい職員
	25日	職員研修（年金について）（リモート）講師：谷本理事長	どんまい職員

■ 法人内定期開催

- ※ 運営委員会（毎月1回 /理事長・理事・管理者）
- ※ 事業所会議（毎月1回 /管理者）
- ※ スタッフ会議（毎月1回 /職員全員）
- ※ 合同カンファレンス（毎月1回～2回）
- ※ 虐待防止委員会（2カ月毎）
- ※ ピアサロン（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ さろんだぞう（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ どんまい食堂（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ さろんだぞうカフェ（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ 感染症対策委員会（R 3. 8～）

■ 定例出席会議

- ※ 地域移行検討会（相談支援専門員・担当職員1名）
- ※ ピアマネージャー会（ピアマネージャー2名）

■ ピアサポート事業/シェアハウスこだち/サロン事業

■ その他

- ※ 法人としては、松山市の地域サロンの参加、ピアサポート事業、人権教育推進協議会への参加、各大学、専修学校から実習生の受け入れや講師の派遣など、地域の精神保健福祉関係事業に参加協力しました。
- ※ 感染対策委員会を8月より立ち上げました。コロナウィルスだけでなく、インフルエンザや食中毒等の感染対策におけるマニュアル作りや法人の規定等の作成を行い、利用者と職員の安心・安全に努めています。
- ※ 虐待を未然に防ぐために、各虐待シーンを職員が動画に収め、利用者へ「どういったことが虐待なのか」を知っていただきました。11月にはこのDVDを元に利用者向け研修を行ったり、アンケートの実施も行っています。どんまいでは、風通しの良い事業所を作り上げ、今後も虐待防止に努めていきます。
- ※ 感染防止対策で病院から見学に来れない方のために、各事業所で見学DVDを作成しました。事前に病院のご協力もいただき、実際に聞きたいことや見たいことを患者さんから伺い、それを盛り込んだDVDに仕上がっています。完成後、退院の動機づけで貸し出す他にもOTやデイケアなど幅広く活用していただきました。

2021年度ピアサポート活動について

《法人ピア事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
見学対応									1		1		2
体験対応	1		1	2		1	2		2		1	1	11
同行支援													0
体験発表	1	7		1			1		1	1	1		13
その他								1					1
研修													0
計	2	7	1	3	0	1	3	1	4	1	3	1	27

【今年度の取り組み】

コロナウィルスの影響で精神科での実習がなくなった看護学生向けに、5回に分けて体験発表を行いました。
また、ワンステップやチャレンジ事業で体験、見学に来られた入院患者へ、同行支援や体験のサポートを行っています。
15周年記念冊子の作文作成に役立つのではないかと、利用者からも聞いてみたいという声があり、利用者向けに体験発表を行いました。

《松山市地域移行・地域定着支援事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①動機づけ支援(長期入院者)		1	3	1				1	1	2	2	1	12
②動機づけ支援(支援者)	2								4	1			7
③話し相手(病院)		1											1
④話し相手(訪問)	1	1	4	2	1	1	3	3		4	1	1	22
⑤同行支援													0
⑥見学対応													0
⑦その他											1	8	9
計	3	3	7	3	1	1	3	4	5	7	4	10	51

【今年度の取り組み】

・登録ピアサポーター 12名

徐々にコロナ禍での活動も増え地域移行の方が事業所の見学や体験に来られ、ピアサポーターが活動のサポートを行いました。また、地域移行支援で退院した方が地域生活に少しずつ慣れていくことができるように、昨年に引き続き話し相手の活動を定期的に行いました。

昨年度作成したDVDを活用してもらい、見学や体験に繋がるケースもありました。

学生への講義や家族会や支援者への体験発表の機会も多くあり、より多くのサポーターが体験発表を行いました。

法人内の職員向け研修でピアサポーターの体験発表を行い、担当以外の職員もピアサポート事業に関する認識の向上に繋がりました。

【来年度の取り組みについて】

来年度は、今年度職員向けに行ったピアサポートについてのアンケート結果を元に、ピアサポート研修を行う予定にしています。ピアサポーターにも協力してもらいながら、研鑽の機会を作っていきたいと考えています。また、今年度に引き続き看護学生など、支援者向けの体験発表の機会を増やしていきたいと考えています。

ピア担当の職員だけでなく、事業所の職員もワンステップ事業などで患者さんが体験に来られた時など、少しずつ関わってもらえるような機会を増やすことで、患者さんが退院してきた時に、どんな場所だったら生活しやすいのか、どんな事業所だったら通所しやすいのかなど一緒に考えていくことができるようになると思っています。そのためには、病院の患者さんや職員さんに地域に目を向けてもらい、ちょっと体験してみたいなと思ってもらえるような働きかけが必要になってきます。今年度作成したDVDを活用し病院へ配布したり、コロナ禍でも出来る取り組みを行政と協力しながら行っていきたいと考えています。

2022年度事業計画書(案)

2022年4月1日から2023年3月31日まで

NPO法人どんまい

事業実施の方針

法人は、共同生活援助事業所、就労継続支援B型事業所、一般・特定相談支援事業所、自立生活援助事業所の運営を事業の柱として、精神障がい者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障がい者の人権に配慮した街づくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活援助事業所どんまいハウスでは、本町センター「こもれび」「わかば」の定員を1名ずつ増し「ひなた」「いずみ」「みなも」5施設で34名の定員とし、引き続き入居者の単身生活に向けた自立のサポートをしていきます。入居者されている方が主体的な生活を送れるよう、日常生活の自立支援はもちろん、行事参加等も積極的に取り入れ、社会参加の機会を作ります。
また、松山市のワンステップ事業やチャレンジ事業を積極的に活用し、社会的入院の方の退院促進を進めていきます。
- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、安心して通所できる事業所として運営を継続できるよう、感染症や防災対策への意識をさらに高め、作業環境の整備に努めます。工賃向上を目指し、安定した生産活動の提供をすると共に、利用者一人ひとりの特性やニーズに対応した作業内容や効率のブラッシュアップを行い、就労意欲の向上に繋がります。利用者一人ひとりが目指す自分らしい生活が実現できるよう個別のニーズに対応した支援力を高め、地域啓発や社会資源の提供に力をいれ、地域へ発信できる事業所を目指します。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、日中活動や生産活動、その他の活動機会を途切れることなく提供できるよう感染症や災害への対応を強化し継続したサービス提供ができる環境や取り組みを続けていきます。また、個別支援計画をもとに、その知識及び能力の向上のために必要な支援や適切な指導、訓練をおこない、高齢の利用者やワンステップ事業の体験者など、幅広いニーズに対応できるよう、きめ細やかな支援や作業環境の整備を行います。弁当配食事業では、クオリティーを維持しながら、作業工程の効率化を図り、売り上げ向上を目指します。また、関係機関との連携を図りながら、本人のニーズや特性に合わせたアプローチで、継続的に就労支援を行っていきます。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、利用者個々のスキルやモチベーションを向上させるために、一人ひとりの進捗に応じた技術指導や作業遂行が実現できるよう支援します。一人ひとりの特性や得意なことを活かしつつ、利用者同士が協力し合える環境を整え、技術の向上や効率化を図れるよう必要な支援や適切な指導、訓練を行っていきます。印刷事業では、新規顧客の開拓や共同受注の活動への積極的な参加により販路拡大や利益向上に努め、コロナ禍のなかでも工賃が維持できるよう事業展開を行っていきます。また、職員の支援力を高め、就労希望者のニーズや特性に応じた就労支援、就労定着支援を行います。
- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぼは、今年度も長期入院から単身生活をされる方や、グループホームから単身生活に移行される方を対象に、利用者が一人の住民として、地域で安心して暮らせるよう支援していきます。利用者の状況に応じた支援ができるように、職員の知識や技術の向上を図ります。利用者の方がサービス終了後の生活をイメージしながら、自分の持っている力を発揮できるように支援を行っていきます。
- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんの今年度目標として、①地域移行定着の推進②相談支援専門員の質の向上③丁寧かつ必要に応じたサービスの提供を掲げます。今年度も積極的に研修に参加し質の向上を目指します。地域移行支援事業・地域定着支援事業においては対象者の方が安心して退院や地域生活を行っていけるよう、丁寧なアセスメントの実施、サービスの調整を行いたいと思います。
また、計画相談では個別ニーズに対応できるよう、適切な相談、助言、援助等に努め、本人の希望する生活を実現できるよう、サービス等利用計画書の作成および評価を行います。

- ⑦ シェアハウスこだちは、これから地域に出て社会生活を始めようと思っているが不安が残るという方、また、家庭環境、住居等の事情により住居の確保が困難な方に対し、一定期間住居を提供し、自立に向けての日常生活の最低限の援助をおこないます。地域の社会資源として活用していただき、定員6名の入居者が安心して生活できるように関わります。
- ⑧ 私たちは一人でも多くの方が地域で安心して暮らせるように、ピアサポート事業を通して応援します。継続的なピアサポートの研修や交流会を行い、当事者と共に学び、ピアサポートを進め、ピアサポーターを支えています。また、他機関とも連携を図りながら、地域移行の促進を目指し、ピアサポート活動のさらなる充実につとめます。
今年度は法人内でピアサポート事業に関する研修を行います。また、コロナ禍の中できる活動を松山市と協力して行いたいと考えます。
- ⑨ サロン事業では、一人暮らしに寂しさを感じている方や日中の活動先を探されている方、自粛により窮屈な生活を余儀なくされている方に対してほっとできる居場所づくりを、また長期入院者の地域生活へのイメージづくりを目指し、さろんだぞう（趣味やゲームの集い）、どんまい食堂（夕食づくり）、さろんだぞうカフェ（地域移行サロン）を実施してまいります。また、感染状況に応じ、昨年度より始めたZoomサロンを引き続き実施し、感染症対策を徹底した環境整備に努めながら、一人でも多くの方の拠り所となるよう最大限の取り組みを行ってまいります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業 どんまいハウス	通年	松山市内	25名	松山市内の精神障害者約34名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約35名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市内	7名	松山市内の精神障害者約35名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約40名
	自立生活援助事業 まいさぼ	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約3名
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	通年	松山市内	5名	松山市内の精神障害者約93名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	シェアハウスこだち	通年	松山市内	48名	松山市内の精神障害者約6名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人ピアサポート	通年	松山市内	48名	松山市内の精神障害者34名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	サロン事業 さろんだぞう	通年	松山市内	48名	松山市内の精神障害者64名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、他 事業所との交流会、勉強会 など	通年	松山市内	48名	全職員及び 実習生